

2024 年度 特待入試

第 1 回

国 語

[注意事項]

- 1 問題は一から四までです。
- 2 時間は 50 分です。
- 3 下敷きおよび電算機つきの時計の使用を禁止します。
- 4 解答は、濃くはっきりと書くようにしてください。
- 5 開始の合図があるまで問題用紙を開かず、手を触れないでください。
- 6 試験中はよそ見をせず、きちんとした態度で行ってください。
- 7 何か物を落としたら、黙って手をあげてください。
- 8 他の受験生に迷惑となるような行為をしないでください。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

読書すること、あるいは学問をすることの意味とは何なのだろうか。一般には、これまで知らなかった知識を得ることという答えが返ってきてきそだが、読書の「意味」、学問の「意味」というものを考えたとき、その答えだけでは十分ではないだろうと私は考えている。

読書によって、あるいは学ぶということによって、確かに新しい知識が自分のものとなる。しかし読書や学問をすることの「意味」は、端的に言って、自分がそれまで何も知らない存在であったことを初めて知る、そこに「意味」があるのだと思う。ある知識を得ることは、そんな知識も持っていなかった「私」を新たに発見することなのだ。

私一人の身体のなかに地球15周分もの細胞が詰まっていると知るとは、そんなにすごい存在だったのかと感動することは、そんなことも知らない自分であったということ、改めて知ることからくる感動なのだ。初めから何でも知っていたら、感動などは生まれない。「知らない存在としての自分を知る」こと、学問はそこから出発する。

自分の知っていることは世界のほんの一部にしか過ぎないのだと自覚する、それはすなわち自分という存在の相対化ということである。それを自覚しないあいだは、自分が絶対だと思いがちである。自分だけしか見えていない。世界は自分のために回っているような錯覚を持つ。

自分は「まだ」何も知らない存在なのだと知ることによって、相手と自分との関係も見えてくるだろうし、世界のなかでの自分が存在することの意味も考えることになるだろう。私は「まだ」何も知らないと自覚することは、いまから世界を見ることができるといふことでもある。それが学問のモチベーションになり、駆動力になる。

「何も知らない自分」を知らないで、ただ日常を普通に生きていることに満足、充足しているところからは、敢えてしんどいサギョウを伴う学問、研究などへのキョウミもモチベーションも生まれないのは当然である。しかし、ああ、自分は実は世界のほんのちっぽけな一部しかこれまで見てこなかった、知っていなかったと実感できれば、そして自分がこれまで知らなかった世界がいかに驚異に満ち、知る喜びにあふれていることを垣間見ることができれば、おのずから知ることに対する敬意、リスペクトの思いにつながるはずである。

(中略)

わが家に小さな子どもがやってきた。まだ一歳にもならない女の子である。世の中ではマゴと呼ぶらしいが、それが可愛いのである。見ているといくつも発見がある。自分の子のときには見えていなかったことばかりである。彼女は世界の中心にいる。天動説のようなもので、自分では何もしなくても、すべてが彼女のまわりをまわっている。世界を所有し、世界は包んでくれても、対峙することはない。

保育園や幼稚園に行くようになって、同じような年齢層の「他者」に初めて出会うことになる。ここで「他者」を知ることが、すなわち自分という存在を意識する最初の経験となるのだろう。世界は自分のためだけにまわっているのではないことを初めて知る。

〈他者〉を知ることによって初めて〈自己〉というものの意識が芽生える。^④「自我のめばえ」は、〈他者〉によって意識される〈自己〉への視線である。自分を外から見るという経験、これはすなわち学ぶということの最初の経験なのである。

先に述べたように、読書をするということは、「こんなことも知らなかった自分」を発見すること、すなわち自分を客観的に眺めることである。^⑤〈自己〉の相対化であると言ってもいい。

こんなことを考えている人がいたのかと思う。こんなひたすら愛があったのか、こんな辛い別れがあるのかと、小説に涙ぐむ。それらは「読む」という行為の以前には、知らなかった世界ばかりである。それを知ることとは、すなわち「それを知らなかった自分」を知ることである。一冊の書物を読めば、自分、自分を見る新しい視線が自分のなかに生まれる。〈自己〉の相対化とはそういうことである。

勉強するのは、そのためである。読書にしても、勉強にしても、それは知識を広げるということも確かにその通りだが、もっと大切なことは、自分を客観的に眺めるための、新しい場所を獲得するということの意味のほうが大きい。小さな子が他者と出会って初めて自分に気づいたように、私たちは〈自己〉をいろいろな角度から見るための、複数の視線を得るために、勉強をし、読書をする。それを欠くと、ひとりよがりの自分を抜け出すことができない。〈他者〉との関係性をキズくことができない。

^⑥勉強や読書は、自分では持ち得ない〈他の時間〉を持つということでもある。過去の多くの時間に出会うということでもある。過去の時間を所有する、それもまた、自分だけでは持ちえなかった自分への視線を得ることもあるだろう。そんな風にして、それぞれの個人は世界と向き合うための基盤を作ってゆく。

永田和宏『知の体力』より

- * 端的……要点だけをはっきりと示すさま。
- * モチベーション……物事を行う意欲。やる気。
- * リスペクト……尊敬。
- * 対峙……向き合って立つこと。

問一 — 部1、4のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 — 部a「垣間見る」・b「おのずから」の意味として適するものを、次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

a 「垣間見る」		b 「おのずから」	
ア	はじめて見る。	ア	自然と。
イ	物事の一部を知ること。	イ	少しずつ。
ウ	何度も見て確かめること。	ウ	自分から。
エ	物事の裏側まで見る。	エ	簡単に。

問三 — 部①「その答え」とはどのような答えですか。本文中から二十二字で抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問四 — 部②「『知らない存在としての自分を知る』こと」とありますが、どういうことですか。分かりやすく説明しなさい。

問五 — 部③「へまだ」何も知らない」の「まだ」にはへへがついています。その効果について説明したものととして最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「まだ」という言葉に注目させ、「知らない」ことは人より後れを取っていることだと気づかせようとしている。

イ 「まだ」という言葉に注目させ、「まだ」がいつもとはちがった意味で使われていることを教えようとしている。

ウ 「まだ」という言葉を強調することで、自分は「何も知らない存在だ」ということを印象づけようとしている。

エ 「まだ」という言葉を強調することで、今は知らなくてもこれから変わっていく可能性があることを示している。

問六 — 部④「自我のめばえ」とありますが、これはどういうものですか。次の中から最も適するものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 他者の存在を知ること、初めて自分という存在を意識するようになるというもの。

イ 友だちができることで、世界には多くの人が存在するのだと気づき始めるというもの。

ウ 子どもは幼稚園に通うことで、他者とのつながりの大切さを知っていくというもの。

エ 他人と接して初めて、自分は家族に守られていた存在なのだと自覚するというもの。

問七 — 部⑤「自己」の相対化」に関係の深いものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア ひとりよがりの自分 イ 新しい知識が自分のものとなる ウ 「それを知らなかった自分」を知る

エ 自分を客観的に眺める オ 世界は自分のために回っている

問八 — 部⑥「勉強や読書」について、筆者の考えを次のようにまとめました。筆者の主張に合うように、I・IIにあてはまる語句を答えなさい。
ただし、I は本文中から十字で抜き出し、II は二十字程度で答えなさい。

私たちは勉強や読書を通して、自分がこれまで知らなかった世界を知ることができる。

←それにより

自分のなかに I (十字) が生まれる。

←だから

勉強や読書を重ねていくことは、II (二十字程度) ことにつながる。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

客観的なデータを並べながら、誤った結論へとみちびこうとする情報は多くある。それらの手段にはいくつかのパターンがある。

ある日、あなたは次のような広告を目にした。「この歯ブラシを、歯医者さんの92%がすすめています!」。あなたはこの広告をみて、どのような印象をもつだろうか。「歯医者さんの92%」といわれると、ほとんどの歯科医がすすめるすばらしい歯ブラシだと思われる。

a 実は、この歯ブラシを試した歯科医はたった13人で、そのうち12人がよいと答えた結果だとしたらどうだろう。もしかするとその実験に参加した歯科医たちに、たまたまその歯ブラシを気に入った人が多かっただけかもしれない。

① このような例は、私たちの身の回りにあふれている。「ドリンクを3か月飲んだら、飲む前より15%体重が減った」、「このタブレットを飲んだ人は、模試の点数が15点も上がった」。もしその広告に根拠の数字が記載されていたとしても、実はとても少ない人数で実施された試験をもとにした数を使用しているのかもしれない。数字を出して効果をうたっている場合、データ数は十分なのかを疑ってみることが必要だ。

(中略)

② データを恣意的に選ぶことで、誤解を招く結果がみちびかれることもある。

b、冒頭の歯科医の例をふたたび考えてみよう。実は13人のグループをいくつかつakって、アンケートを行っていたとしたらどうだろう。おすすめだという歯科医の多かったグループのデータだけを採用することで、効果があるようにみせかけたのかもしれない。

グラフでデータが示される場合も注意が必要だ。「売り上げが激減しているので対策が必要です」とグラフで示されたとしよう。実は③グラフの縦軸が切り取られていて、実際はほとんど差がない横ばいのデータを誇張していただけだった。このようにデータをグラフとして示された場合、縦軸と横軸の幅が意図的に変えられたり、切り取られていたりすることがあるので注意が必要だ。

(中略)

④ 「飲酒量」が多いほど「肺がん」の発生が多くなる。たとえばこのような相関をみせるデータがあったとする。そのデータをみて、あなたは⑤どう考えるだろうか。

⑤ 私たちは「飲酒量の多さが原因で肺がんになった」というように、そこに因果関係があると考えがちだ。しかし、そうとはかぎらない。肺がんにかかると飲酒量が増えるのかもしれない。c 「飲酒量」と「肺がん」のデータに相関があるようにみえるが、それは偶然でまったく関係がないかもしれない。「飲酒量」も

「肺がん」もふやすような第三の因子が関係しているかもしれない。この第三の因子は⑥「交絡因子」とよばれている。たとえばこの例では、喫煙が交絡因子の候補として考えられるだろう。

「因果関係がある」ようにみえるデータをみたとき、落とし穴に落ちないためには、交絡因子の存在を考えることが重要だ。

たとえば、「アイスクリームの売り上げ」と「水難事故の発生件数」について考えてみよう。月ごとにデータをみると、アイスクリームの売り上げが高いと水難

事故の発生件数が増加するという「正の相関」がみられることがわかっている。アイスクリームの売り上げも水難事故の発生件数も夏にかけて多くなり、冬に最も少なくなる。d、水難事故を減らすためにアイスクリームの販売を自粛すればよいのだろうか。

水難事故の件数とアイスクリームの売り上げに因果関係はあるだろうか。アイスクリームを食べると水難事故がふえるということではなく、または水難事故がふえることによりアイスクリームの消費量がふえるということはないだろう。この場合、水難事故の数とアイスクリームの売り上げに影響をおよぼす交絡因子がないかを考えてみる。調べてみると、アイスクリームの売り上げは最高気温が高いとふえていることがわかった。同様に、水難事故の発生件数も最高気温と正の相関があり、暑くなって水遊びをする人がふえるほど事故が増加していたのだ。つまりこの場合の交絡因子はXで、アイスクリームの売り上げと水難事故の発生件数に因果関係はなかったのだ。

(中略)

現在では、ビックデータとよばれる膨大な量のデータが簡単に手に入るようになった。またコンピュータ技術の進化によって大量のデータを一度に分析することも可能だ。それにもない新たな問題も想定される。たとえば大量のデータから、スーパースターの試合結果と株価の関係のように、因果関係がないにもかかわらず、あたかも関係があるようなデータの組み合わせを見つけることもできるだろう。今後、新しい統計データの落とし穴が生まれるかもしれない。

私たちは、どういった方法でそれらの数字が求められたのか、どのように統計の技術が利用されているのかといったことを積極的に知っていく必要がある。統計データの落とし穴に落ちないためにも、日々、統計リテラシーをみがくことが求められているのだ。

今野紀雄監修「統計データの落とし穴」『Newton』2023年8月号

* 恣意……思いつくままの考え。思うままの気持ち。

* 相関……お互いに深く関係しあっていること。

* 因子……ある結果をもたらすことになる要素のひとつ。

* 交絡……統計上二つのものに因果関係があるようにみえても、実は第三の要因が作用しており、二者の間に直接の関連がないか、あっても小さいこと。

* スーパースター……NFL（ナショナルフットボールリーグ）において、アメリカンフットボールの優勝を決める試合のこと。全米で最大のスポーツイベントとされる。

* リテラシー……この場合は、統計の分野に関する知識やそれを活用する能力のこと。

問一 a d に入れるのに最も適するものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。（ただし、同じ記号は一度しか使えないものとします。）

ア または イ おそらく ウ たとえば エ では オ しかし

問二 — 部①「このような例」について、どのようなことを疑う必要がある例なのかを説明しなさい。

問三 部②「データを恣意的に選ぶことで、誤解を招く結果がみちびかれることもある」とありますが、そのような例を次の中から選び、記号で答えなさい。

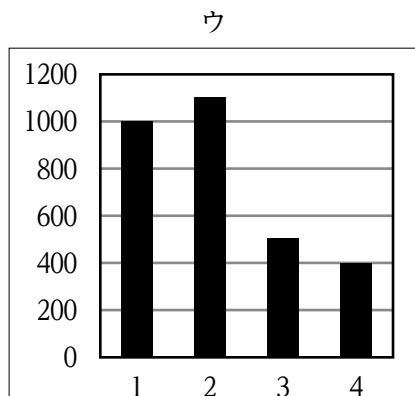
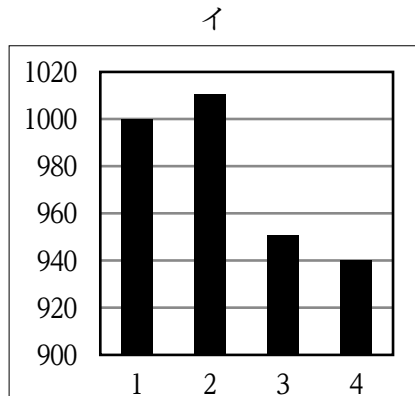
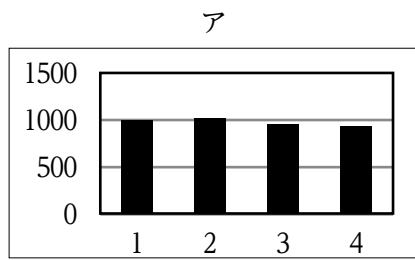
ア すすめられた勉強法を実行したら、私はテストの成績が15点も上がった。

イ コイン投げにおいて、表と裏が出る確率は、それぞれ約2分の1である。

ウ 次に満月が見られるのは、2024年2月24日(土)と予想されている。

エ 全校生徒の70%が支持した意見を、生徒会では採用することになった。

問四 部③「グラフの縦軸が切り取られていて、実際はほとんど差がない横ばいのデータを誇張していた」とありますが、このようなグラフを次の中から選び、記号で答えなさい。ただし、これらのグラフは「2023年の1月から4月(横軸)における、ある会社の売り上げ(縦軸・単位万円)を棒グラフで示したものである。



問五 部④「あなた」と⑤「私たち」の関係として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「あなた」と「私たち」は関係ない集団である。 イ 「あなた」と「私たち」は同一集団である。

ウ 「あなた」は「私たち」の中にふくまれている。 エ 「あなた」は「私たち」をふくんでいる。

問六 部⑥「喫煙が交絡因子の候補として考えられる」について、次のような意見があります。この意見を参考にして、あなたの考えを書きなさい。

「お酒を飲むことは胃腸などの消化器官に影響し、タバコを吸うことは肺などの呼吸器官に影響する。」

問七 X に入るのに最も適する言葉を、文中から抜き出して答えなさい。

問八 部⑦「簡単」とありますが、この用語とほぼ反対の意味として使うことのできるものを次の中から選び、漢字に直して答えなさい。

「ヨウイ フタン コンナン タンジュン」

問九 この文章の内容としてふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 引用された文中には、統計データの落とし穴のパターンが三種類あげられている。
- イ データを提示する時は、相手が正しく理解できるように心がけなくてはならない。
- ウ 相関関係にあると思われるデータには、因果関係を見出すことができる。
- エ 統計リテラシーは、用いられている統計の技術を知ることによって向上する。

三 次の1～5の言葉の意味として適するものを、後のア～クから一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし、同じ記号は一度しか使えないものとしてします。)

1 いそしむ 2 かまける 3 まどろむ 4 たわむれる 5 なぞらえる

ア	ふざける。おどける。	イ	いいかげんにあつかう。	ウ	仮にそうだと考える。まねる。
エ	さかんにほめそやす。	オ	少しの間、浅くねむる。	カ	あることに気を取られて他がおろそかになる。
キ	えさをさがしもとめる。	ク	心をこめてつとめはげむ。		

四 □部の漢字が、例文A～Eと同じ意味で用いられているものをア～エから選り、記号で答えなさい。

A あの二人はよく口論をしている。

ア テーマについて論争する。

ウ 税制改革についての世論調査。

イ あの人は確固たる持論を持っている。

エ 多数決で決める前に異論がないか確認する。

B ピアノの調律をする。

ア 規_レ律正しい生活をする。

ウ あの曲の音律が心にしみる。

イ 大学で法律を勉強する。

エ 仲間として破ってはならない不文律がある。

C 優雅な生活を送りたいものだ。

ア 現時点で優位に立っているチーム。

ウ 優美な立ち振る舞いに感心する。

イ あの人だけが優遇されるなんて不公平だ。

エ あの商店の優待券を持っている。

D 例の政治家が命じたそうだ。

ア 死_ニが確認された人物。

ウ 滅_ニした恐竜の化石。

イ 国外への逃_レを考えている。

エ 存_ニをかけた戦いが始まる。

E 北国には針葉樹が多い。

ア 新社長が経営の指針を述べる。

ウ 今後の方針をはっきりさせる。

イ 船長が針路を決める。

エ 祖母が使っていた針箱。

